

当院で胆嚢摘出術を受けられた患者さんへ

診療情報を用いた臨床研究に関する情報公開文書

本研究は、通常診療で得られた診療情報を用いる後方視的観察研究です。新たな検査や治療をお願いするものではありません。研究への利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までお申し出ください。

研究課題名	腹腔鏡下胆嚢摘出術における術前予測因子の検討 - 単施設 100 例における後方視的観察研究 -
研究機関	大館市立総合病院 外科
研究責任者	萩原 悠介 大館市立総合病院 外科 副部長
研究期間	倫理委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日まで
研究対象	当院で良性胆嚢疾患に対して腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けられた成人患者さん

1. 研究の目的

腹腔鏡下胆嚢摘出術は胆嚢疾患に対する標準的な手術ですが、炎症の強さや胆道の解剖学的特徴によって手術の難易度が大きく異なります。本研究では、手術前に得られる血液検査や画像検査の情報から、手術が難しくなる要因を明らかにすることを目的としています。

2. 研究の方法

当院の診療録、手術記録、血液検査、CT、MRCP などの既存情報を後方視的に確認します。研究のために新たな検査、治療、来院をお願いすることはありません。

3. 利用する情報

- 年齢、性別、身長・体重、既往歴、内服薬などの患者背景。
- 診断名、急性胆嚢炎の重症度、発症から手術までの日数。
- 血液検査結果。
- CT、MRCP などの画像所見。
- 手術記録、手術時間、出血量、開腹移行、胆嚢全摘術の有無。
- 術後合併症、在院日数、再入院、病理結果。

4. 個人情報の取り扱い

研究に用いるデータは症例番号で管理し、氏名、患者 ID、生年月日など個人を直接特定できる情報は解析データから削除します。研究成果を学会や論文で発表する場合にも、個人が特定される情報は公表しません。

5. 研究への参加を希望されない場合

本研究への診療情報の利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。申し出があった場合、その方の情報は研究に使用しません。研究への参加を希望されない場合でも、診療上の不利益を受けることは一切ありません。

ただし、すでに個人が特定できない形で解析が終了している場合や、学会・論文等で公表済みの場合には、データを除外できないことがあります。

6. 研究資金および利益相反

本研究は通常診療で得られた既存情報を用いて行います。特定の企業からの資金提供はありません。利益相反が生じる場合には、所定の手続きに従って適切に管理します。

7. 研究成果の公表

研究成果は、個人が特定されない形で国内外の学会または学術誌に発表する予定です。

8. 問い合わせ先

大館市立総合病院 外科 研究責任者：萩原 悠介

〒017-8550 秋田県大館市豊町3番1号

電話：0186-42-5370（代表）

受付時間：平日 8 時 30 分～17 時 00 分

作成日：2026 年 6 月 23 日 Version 1.0